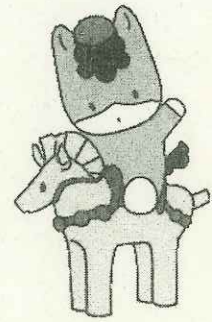


# 東国文化自由研究レポート



## 研究テーマ

群馬と近畿の埴輪を比較して

～三人童女との出会いをきっかけに～

提出日 2021年8月27日(金)



伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

1年 3組 6番

氏名 大賀 すみれ

## 1. はじめに

今回、初めて夏休みの課題で「レポート文」というものを書くことになった。どんなことについて研究しようかと、とりあえず綿貫観音山古墳と歴史博物館に行ってみたところ、博物館の展示物で目に留まる埴輪が一つあった。**三人童女**という埴輪である。この埴輪を見て、私は二つの疑問が浮かんだ。一つは、古墳に配置されている埴輪には決まりや特徴があるのか。この埴輪は綿貫観音山古墳で出土されたものであり、博物館の係員の方にお話を伺うと、この埴輪は1つに三体の埴輪がのっている、全国でもこれ一つしか見つかっていない埴輪だと教えてくださった。なので、この埴輪に込められた思いやなぜその場所に配置されたのかななども知りたいと思った。もう一つは、埴輪が作られた時代・場所によって違いが出て来るのか、ということである。埴輪は全ての時代・場所で同じ人が作ったわけではないと思うので、その時代や場所によって作り方が似ていたり、身につけている飾りのデザインが違ったりしているのかもしれない。これらの疑問を解決するために、私の夏休みを埴輪に捧げる。



実際の埴輪



祝 国宝決定！！

金属製の装身具や埴輪など、計 3346 点の綿貫観音山古墳の出土品が国宝に登録された。

## 2.調査方法

- ・インターネットを用いて、埴輪がどのように古墳に配置されていたかを調べる。そして、綿貫観音山古墳や他の群馬県古墳、群馬県古墳と他県古墳などと比較する。また、古墳時代の中でも、3～7世紀にどこで作られたかなどを群馬県と比べて、特徴を見つける。
- ・埴輪に関する本を読み、そこから分かる事などを整理して推測する。
- ・博物館の方に質問をする。

## 3.調べたこと

### <三人童女について>

まず、三人童女について調べた。この埴輪は、今から約1450年前に作られたと考えられ、群馬県高崎市綿貫町の綿貫観音山古墳から出土された。そして、1.でもあったように、1つに3人の巫女がのっている埴輪で、このような物は日本で一つしか見つかっていないらしい。この埴輪は、三人で楽器を演奏していて、一番右の巫女の右腕にある細い糸のようなものは弦を弾く撥であり、儀式を盛り上げるために演奏している埴輪だと考えられている。また、巫女の背中を見ても、それぞれ二つ、円盤のようなものがついている。これは鏡で、「後ろから邪気をはね返す」という意味を込めてつけられたといわれている。頭の上にある円のようなものは髻である。



こんなふうに何か楽器がのっていた？



それともそれぞれ何か楽器を抱えていた？



鏡



髪

<古墳に配置されている埴輪について>



三人童女

### 綿貫観音山古墳の埴輪の図

上の図は、綿貫観音山古墳に行った時に見つけたパネルに載っていた、綿貫観音山古墳に配置されていたとされる埴輪の位置を示した図である。



### 兵庫県五色塚古墳の写真

古墳の数が一番多い兵庫県で有名な古墳と比較。上の写真の赤線は、右の写真のような鱗付円筒埴輪や鱗付朝顔形埴輪が計 2200 本並んでいたとされる。



穴が三角！？

○綿貫観音山古墳から分かったこと

- ・石室の近くには、巫女や御食持ち、武士、そして三人童女などの人系埴輪が並んでいる
- ・四角い方の角にはそれぞれ馬の埴輪が並んでいる
- ・円筒埴輪は、古墳を囲むようにして並べられているが、一周はしていない
- ・上には、家やにわとりなどの動物があり、円筒埴輪が円を描くように円の方に並べてある

○五色塚古墳から分かったこと

- ・段に沿って、2種類の円筒埴輪が規則的に並んでいる
- ・動物、人の埴輪があまりない
- ・埴輪の穴が三角である
- ・ただの円筒埴輪ではなく、鱗付円筒埴輪という埴輪である



朝顔形鱗付埴輪  
鱗  
鱗付円筒埴輪

☆豆知識 朝顔形鱗付埴輪は、上のラッパのような部分が朝顔のように見えることから名前が付けられた

～二つの古墳を比べて分かること～

- ・綿貫観音山古墳は、五色塚古墳に比べて、円筒埴輪が少ない
- ・綿貫観音山古墳は、五色塚古墳とは違い、円筒埴輪が古墳を一周囲んでいない
- ・五色塚古墳は、それぞれの段に円筒埴輪が置かれているが、綿貫観音山古墳は、一番下の段には埴輪が置かれていない
- ・しかし、埴輪の置き方は他の地方と比べてもそれほど大きく変わらないと思った



保渡田古墳群（群馬県）

五色塚古墳のように、実際にあった場所に埴輪が並べられている。ここには、54体の人物埴輪と6000体もの円筒埴輪があるらしい。円筒埴輪は、鱗はないが同じく円筒埴輪と朝顔形円筒埴輪が規則的に並べられている。



綿貫観音山古墳の埴輪

穴の形は、丸が多い

五色塚古墳の埴輪

穴の形は、四角・半月・三角などがある

<埴輪が作られた時代・場所によっての違いについて>



右の表は、前方後円墳が出現してから消失するまでの、埴輪が作られていたとされる年代を表したものである。

これを見ると、円筒埴輪は前方後円墳が出現してから消失するまでの間、ずっと作られていたと分かる。そして、5世紀ごろからいろいろな種類の埴輪が出てくる。馬などの動物の埴輪は、5世紀後半ごろから出現しているが、鶏は4世紀半ば、水鳥は5世紀ごろから出現しているとも分かった。馬の埴輪より鳥の埴輪の方が先輩だと初めて知った。また、特殊器台は3世紀～4世紀、甲冑・船の埴輪は5世紀～6世紀の間にしかそれぞれ出現していない。



綿貫観音山古墳でも鳥の埴輪が見つかった！

～まず、埴輪の歴史について～

最初に登場した埴輪は、3世紀後半に作られた奈良県の箸墓古墳（最古の古墳の一つだと言われている）で見つかった壺形埴輪と器台形埴輪である。群馬には4世紀前半に壺形土器が伝わって来た。壺形埴輪は前橋市の天神山古墳や高崎市の元島名将軍塚古墳から出土している。そして、4世紀後半によく埴輪が登場する。太田市の朝子塚古墳には、壺形埴輪・器台形埴輪の他に、家・盾形埴輪も置かれていたらしい。1つの古墳から出土する埴輪でも、形、作り方がばらばらで、埴輪作りがまだ根付いていなかったことが分かる。本にも、“これらの「にはわ」は近畿地方の物に比べると、形、作り方などが違ってきます。”と書いてあるので、今回は近畿地方の埴輪と群馬の埴輪を比べてみることにした。



壺形埴輪



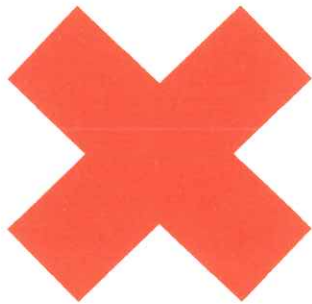
器台形埴輪

壺形埴輪を上のにせるための台

群馬県

近畿地方

三世紀



(まだ、伝わっていないため)

四世紀



壺形埴輪・特殊器台形埴輪

3世紀後半 奈良県箸墓古墳出土

箸墓古墳では、埴輪の破片くらいしか見つからないが、同じころに作られたとされる元稲荷古墳では、破片を基に形が作られている。



3世紀後半  
京都府元稲荷古墳  
出土



←このような模様を、弧帯文というらしい

四  
世  
紀



器台形埴輪

4世紀後半 玉村町下郷天神塚古墳出土

特徴：形が台形

三角の穴や、丸の穴がある  
でっぱりみたいな線は、3本  
色は、赤茶色っぽい  
模様・・



実は、上から二段目の空間に顔の模様がかいてある。

五  
世  
紀



3世紀後半の埴輪と同じデザインの埴輪は、ほかにも見つかっている。

奈良県弁天塚古墳出土

(インターネットでいろいろ探してみたが、いつ頃の物かは分からなかった。しかし、埴輪年表から見て、おそらく3-4世紀ごろに作られたものだと思う。)

特徴：形が長方形

3世紀後半と同じように、弧帯文になっている  
でっぱりみたいな線は、7本ある  
色は、黄土色っぽい  
模様・・



このような模様がかかっている。

群馬県と近畿地方の器台形埴輪を比べてみると、  
形・・群馬：台形 近畿：四角形  
穴・・群馬：三角、丸など 近畿：弧帯文  
色・・群馬：赤茶色 近畿：黄土色  
線（でっぱり）・・群馬：少なめ 近畿：多め  
模様・・群馬：顔 近畿：線みたいなのがいっぱい  
などが分かった。しかし、このほかにも埴輪は沢山あるので、これは下郷天神塚古墳と弁天塚古墳の埴輪を比べた結果である。



五  
世  
紀



馬形埴輪

5世紀後半  
前橋市  
白藤V-号墳出土



↑誰かに似ている気が・・・

特徴：目がくりぬかれている  
耳が筒みたいな形  
おでこに棒みたいなものがある  
目が顔の正面にある  
鼻の穴がある



馬形埴輪

5世紀  
大阪府  
大仙古墳出土

頭しか見つかっていない

特徴：目が本物みたい  
耳がくりぬかれている  
鼻の穴はない

群馬県と近畿地方の馬形埴輪を比べてみると、  
目・・・群馬：くりぬき 近畿：くりぬかない  
耳・・・群馬：筒形（立体） 近畿：くりぬき  
鼻の穴・・・群馬：あり 近畿：なし  
馬具・・・群馬：少なめ 近畿：多め  
などが分かった。群馬の馬形埴輪は、大体みんな同じつくりをしていた。

六  
世  
紀



人物埴輪（琴）

6世紀  
前橋市朝倉町出土

特徴：帽子をかぶっている  
メイクをしている  
首に飾りをつけている  
琴が大きい



人物埴輪（琴）

古墳時代後期  
大阪府出土

特徴：飾りはつけてなさそう  
目の形が半月形  
脇をけっこう広げて琴を弾いている  
琴が小さい

六  
世  
紀  
—  
七  
世  
紀

群馬県と近畿地方の人物埴輪（琴）を比べてみると、

目・・・群馬県：楕円形 近畿地方：半月形

琴・・・群馬県：大きめ 近畿地方：小さめ

<共通点> ♪

・髪がおさげ（下げ美豆良という地位の高い人のヘアスタイル）

・足を揃えて座って琴を弾いている

などが分かった。



人物埴輪（巫女）

6世紀後半

高崎市

綿貫観音山古墳出土



人物埴輪（巫女）

古墳時代中期終わり～後期初め

京都府

塩谷古墳群

（5号墳）出土

特徴：目が細い

腕と首に飾りをつけている

リボンを襷のようにかけている

特徴：目が大きい

首飾りを付けている

リボンをお腹に巻いている

群馬県と近畿地方の人物埴輪（巫女）を比べてみると、

目・・・群馬県：細い 近畿：大きい

飾り・・・群馬県：腕と首 近畿：首

リボン・・・群馬県：襷風 近畿：お腹に巻く

などが分かった。他にも、髻の形や頭の形、服のデザインが違っていた。

☆おまけ ～群馬の埴輪たち～



国宝！！

太田市飯塚町出土

甲冑武人埴輪

通称：ぶじんくん



HANI-1 グランプリ

1位！！

藤岡市下毛田遺跡出土

人物埴輪

通称：笑う埴輪

#### 4. 感想

インターネットで、群馬以外の埴輪を見つけるのがとても難しかった。群馬の埴輪なら、古墳や博物館に行けば間近で埴輪を見れるし、どんな埴輪があるか分かるが、今まで他県の埴輪なんて気にしなかったので、ネットで調べてもたまたま群馬の埴輪の画像とか出てきて、本当にその県で出土された埴輪かを調べる必要があった。埴輪が作られた時代・場所について調べたうえ、同じ種類の埴輪を比べたので、さらに作られた時代や種類という条件を満たした得体の知れない埴輪を探すのはかなり大変だった。でも、実際に比べてみたら、群馬の埴輪と他県の埴輪は、似ている所もあるし、違う所もあって面白かった。個人的に、3世紀~4世紀ごろの近畿地方の器台形埴輪のデザインがとてもおしゃれで好き♡このレポートを書かなかっただら、この埴輪に出会えてなかったかもしれないので、大変だったけれど、苦労しているレポートが書けて、いい埴輪に出会えて良かった。しかし、今回は一部の古墳・埴輪を比べただけなのでまだまだ確実なことははっきりと言えないが、ちょっと比べただけでいろいろな発見ができた。このおかげで、沢山の埴輪を見ることができたし、埴輪について知ることができたし、前よりも埴輪に興味を持つようになったので、本当に良かった。また機会があれば、今度はもっとたくさんの埴輪と群馬の埴輪を比べてみたい。他県の古墳や歴史博物館に行って、埴輪も見たいと思った。

#### <参考資料>

Wikipedia

Microsoft Bing

Google clome

<https://www.plef..gunma.jp/07/b2110028.html/01/tougoku>

<https://www.jomo-news/gunma/culture/24415>

<https://tabi-mag.jp/gu0217>

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/35832>

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/site/bunkazai-shiseki/1920.html>

[www.inoues.net/ruins2/kayaohaka.html](http://www.inoues.net/ruins2/kayaohaka.html)]

blog.livedoor.jp

kisetumimiyori.com/goshikizukakofun/

本 ・ HANI-本

・ 図説はにわの本

動画 あなたの知らないはにわの世界「三人童女」 | 子ども向け | 歴史博物館 | 群馬県

いつでも笑顔でポジ  
ティブに！！

